

平成 25 年 5 月 18 日

四條畷学園中学校

## 外部評価委員会 議事録

日 時：平成 25 年 5 月 18 日（月） 午後 2 時～午後 3 時半

場 所：四條畷学園中学校 会議室

議 題：学校評価の分析結果に対する外部評価

参加者：中学校外部評価委員

小森信行 和田恵理子 山口智子 ペリン清美 玉田直美

中学校評価委員

堀井清史 石川拓司 水上真理子

### 記 録

#### ◎ 生徒・保護者による学校評価アンケート結果に対する外部評価

全般的に昨年と比べて評価が上がっているのは良いと思われる。

##### ○ 学習の定着について

- ・ 他の私立校の情報を耳にしたりするが、比べると本学園中学校の学習に対する面倒見はいいほうであると思われる。
- ・ 副教材を多く提供してもらうが、教科によっては点検・提出などが不十分に終わるケースもあるように思う。改善できればより定着も図れると思う。
- ・ 頻繁に小テストなど確認テストをしてもらうとより向上するように思う。

##### ○ 授業について

- ・ 参観授業を見たりする限りでは、3.8 という評価は厳しいように思う。生徒は授業に意欲的に取り組んでいるように思われる。保護者が自分の子供の様子を見て学習に意欲的でないと評価することでポイントが低くなっているのではないか。

##### ○ 行事について

- ・ 行事は本当に多彩で満足いくものである。

##### ○ 校則について

- ・ 子供たちの自己評価が厳しいのではないかと思う。
- ・ 校則は適当で、子供たちもその校則に従って生活できているように感じる。

##### ○ PTA 活動・生徒会活動

- ・ 両活動については、その活動に参加しているかどうかで評価が違うのではないかと思われる。どちらかといえば、活発に活動しているように思う。

##### ○ 生徒と教師の関係について

- ・ 生徒の評価が若干低いのは、思春期でもあるのである程度仕方がないのではないか。

##### ○ いじめへの対応について

- ・ 日直面談等、個人レベルでの対応は良くできていると思う。
- ・ なかなか生徒本人から教師に事象について相談することは勇気がいる、難しい時もあるが、保護者が心配して教師に相談すると迅速に対応してもらえる状況があることはすばらしい。

- ・ 携帯電話など情報機器での事象が増加していて、「うかがいメール」などがいじめの加害者から届いたりし、いじめについても情報のやり取りが教師、保護者が思うよりも速いので、難しい点もあるので、対応に常に気を配らなくてはならないと思う。
  - ・ 本学園中学校では陰湿ないじめをする生徒はいないと思われるが、逆に無関心な生徒が多いのではないかと思う。一般的にもその傾向が強いが、生徒同士のかかわり方を学ばせてほしい。
  - ・ 「いじめへの対応が適切であるか」はいじめられる経験のない人にとっては、実感がなく、答えにくい設問なので、数値どおりに結果を受け止めるのは危険な点もある。
- 制服について
    - ・ 制服は良いと思われるが、生徒の回答が3.6になっているのは、他校でも制服の改定が進み、本校の制服との差別化が難しくなっているからではないだろうか。
    - ・ ソックスの改善の声は大きい。SG マークのソックスは男子用サイズが販売されていない。またベネトンのソックスは耐久性に優れないので改善が望ましい。
  - 個人面談の充実について
    - ・ 生徒の評価が若干低いのは、教師とのコミュニケーションをもっととりたい現れなのでよい傾向と思われる。
  - 挨拶について
    - ・ とても充実していると思われる。
    - ・ クラブ活動では、挨拶も含め、もう少し上下関係を身に着けさせる機会が与えられればと思う。

## ◎ 教員による自己評価集計結果報告に対する外部評価

- 学校運営について
  - ・ 会議の有効性の評価が低いのは少し心配である。すべての先生方が十分に意見交換ができていないかを検証することが望ましい。
  - ・ 財務関係評価が低いのは、教育にかかわる費用は削れないので子供のための教材等の出費が多くなってしまふのは妥当ではないだろうか。
- 教育内容について
  - ・ 教科指導の評価は高く、満足のいく数値であるが、より向上させるためにも研究授業等を充実させてほしいと思う。
- 教員研修・資質向上について
  - ・ 研修の成果を他の教員と共有できるように研修報告書の充実などの対応をするほうが良い。

総合的に学校評価・自己評価ともに概ね評価通りであり、改善策も妥当と感じられる。

平成 25 年 5 月 14 日

四條畷学園中学校

## 外部評価報告

### ○ 生徒・保護者による学校評価アンケート結果に対する外部評価

今年度も「いじめ」に関して意見が多く出た。

評価アンケートの数値が低いのが、いじめを実際に体験した人、そうでない人によりそれぞれの受け取り方や感じ方が違うので、一概に数値だけで判断するのは危険という意見をいただきました。

「いじめ」の迅速対応、予防指導などについては、好意的に見ていただいているようです。

尚、学習活動・クラブ活動・行事・PTA 活動・人間関係などは概ね評価どおりであり、評価が低い生活面なども昨年の評価より向上していることを評価していただきました。さらに学校に今後の期待をされています。

### ○ 教員による自己評価集計結果報告に対する外部評価

前年度と比較すると評価は向上しています。教員がそれだけ学校内の問題点を注視し、それぞれの項目で前向きに努力しているあらわれと評価していただいています。

反面、会議の有効性や教員研修の情報共有など残される課題に対する対応や改善を指摘されました。より充実した教師間のコミュニケーションの充実が課題となります。

### ○ 結果

総合的に学校評価・自己評価ともに概ね評価通りであり、改善策も妥当と感じられます。